



# 決算説明会資料



2007年11月21日

横浜冷凍株式会社

- 全体として、増収減益となる。

(単位:百万円、%)

		2006年9月期	2007年9月期		
		金額	金額	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	(連結)	115,947	124,556	8,609	(7.4%)
	(単体)	115,614	124,084	8,470	(7.3%)
営業利益	(連結)	3,506	3,353	▲153	(▲4.4%)
	(単体)	3,462	3,292	▲170	(▲4.9%)
経常利益	(連結)	3,671	3,601	▲70	(▲1.9%)
	(単体)	3,639	3,545	▲94	(▲2.6%)
当期純利益	(連結)	2,002	1,916	▲86	(▲4.3%)
	(単体)	2,007	1,956	▲51	(▲2.5%)
設備投資額	(連結)	5,770	6,527	757	(13.1%)
	(単体)	5,752	6,352	600	(10.4%)
減価償却費	(連結)	2,337	2,576	239	(10.2%)
	(単体)	2,289	2,515	226	(9.9%)

# 事業別 業績比較



- 冷蔵倉庫事業 : 庫腹タイト感は緩和傾向、新增設事業所は順調。
- 食品販売事業 : 取扱い数量の増加と単価アップで、増収増益となる。

(単位:百万円、%)

		冷蔵倉庫	食品販売	その他	合計
売上高	2006年9月期	17,592	97,986	36	115,614
	2007年9月期	17,635	106,413	36	124,084
	前期との増減額	43	8,427	0	8,470
	2007年5月予想	17,800	97,160	40	115,000
売上総利益	2006年9月期	3,643	4,620	29	8,292
	2007年9月期	3,515	4,939	29	8,483
	前期との増減額	▲ 128	319	0	191
	2007年5月予想	3,780	4,790	30	8,600
粗利益	2006年9月期	3,643	1,083	29	4,755
	2007年9月期	3,515	1,124	29	4,668
	前期との増減額	▲ 128	41	0	▲ 87
	2007年5月予想	3,780	1,120	30	4,930

※ 粗利益 …… 一般管理費配賦前の利益

- 関東2ヶ所、九州1ヶ所で新增設。
- 阪神地区は、貨物構成を見直し中のため収益力が低下する。

(単位:百万円、%)

		2006年9月期		2007年9月期			
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	東北・北海道	2,388	13.5%	2,221	12.6%	▲ 167	▲ 7.0%
	関東	6,331	33.4%	6,541	37.1%	210	3.3%
	中京・東海	2,193	12.7%	2,271	12.9%	78	3.6%
	阪神	3,083	20.1%	2,928	16.6%	▲ 155	▲ 5.0%
	九州	3,597	20.3%	3,674	20.8%	77	2.1%
	合計	17,592	100.0%	17,635	100.0%	43	0.2%
粗利益		金額	粗利益率	金額	粗利益率	粗利増減額	粗利増減率
	東北・北海道	714	26.6%	639	28.8%	▲ 75	▲ 10.5%
	関東	1,417	20.1%	1,128	17.2%	▲ 289	▲ 20.4%
	中京・東海	562	22.7%	676	29.8%	114	20.3%
	阪神	521	20.0%	465	15.9%	▲ 56	▲ 10.7%
	九州	662	19.5%	833	22.7%	171	25.8%
	部門管理費	▲ 233		▲ 226		7	
合計	3,643	20.7%	3,515	19.9%	▲ 128	▲ 3.5%	

※ 粗利益・・・一般管理費配賦前の利益

- 入出庫取扱量は減少し、在庫も減少する。
- ユーザーの在庫調整が進み、業界全体でも在庫が減少する。

(10月から9月までの年間データ) (単位：千トン)

項目	ヨコレイ		日冷倉 12都市	
	2006.9月	2007.9月	2006.9月	2007.9月
年間入庫量	1,019	1,014	10,244	10,179
月末平均在庫量	236	225	1,801	1,703
回転数	4.3回/年	4.4回/年	5.7回/年	6.0回/年
在庫率	38.4%	35.1%	34.1%	32.3%

(10月から9月までの年間データ) (単位：千トン)

入庫品目	ヨコレイ			日冷倉 12都市		
	2006.9月	2007.9月	%	2006.9月	2007.9月	%
水産物	369	361	35.6	2,574	2,532	24.9
畜産物	271	265	26.1	3,335	3,379	33.2
農産物	194	220	21.7	1,377	1,328	13.0
冷蔵・その他	185	168	16.6	2,958	2,940	28.9
合計	1,019	1,014	100.0	10,244	10,179	100.0

- 畜産物が売上げ・粗利益ともに伸びます。
- 水産物は、増収だが相場損もあり減益となる。

(単位:百万円、%)

売上高	2006年9月期		2007年9月期	
	金額	前期比 増減額(率)	金額	前期比 増減額(率)
食品販売全体	97,985	14,768 (23.1%)	106,413	8,428 (8.6%)
水産物	48,558	7,431 (21.5%)	54,340	5,782 (11.9%)
水産加工品	3,023	359 (15.7%)	3,159	136 (4.5%)
畜産物	44,973	6,927 (26.7%)	47,404	2,431 (5.4%)
畜産加工品	73	▲ 5 (▲ 7.6%)	100	27 (37.0%)
農産物	558	79 (20.7%)	673	114 (20.4%)
その他	796	▲ 22 (▲ 2.6%)	735	▲ 61 (▲ 7.7%)
粗利益	金額	粗利益率	金額	粗利益率
	1,083	1.1%	1,124	1.1%

※ 粗利益 …… 一般管理費配賦前の利益

# 営業外損益、特別損益



(単位:百万円、%)

	2006年9月期	2007年9月期	増減額	増減率	主な増減理由
営業利益	3,462	3,292	▲ 170	▲ 4.9%	
営業外収益	225	305	80	35.6%	
営業外費用	49	52	3	6.1%	
経常利益	3,639	3,545	▲ 94	▲ 2.6%	
特別利益	306	161	▲ 145	▲ 47.4%	固定資産税還付金(151百万円)
特別損失	262	180	▲ 82	▲ 31.3%	関係会社株式評価損等

# 比較B/Sの主要項目



(単位:百万円、%)

	2006年9月期	2007年9月期	増減額	増減率	主な増減理由
流動資産	25,027	26,486	1,459	5.8%	
現金預金	2,763	1,239	▲ 1,524	▲ 55.2%	
売上債権	15,966	17,468	1,502	9.4%	
棚卸資産	5,830	6,991	1,161	19.9%	
固定資産	46,657	50,397	3,740	8.0%	
有形固定資産	39,578	43,358	3,780	9.6%	新增設による増加
投資等	5,572	5,478	▲ 94	▲ 1.7%	
流動負債	16,956	20,481	3,525	20.8%	
仕入債務	11,254	11,869	615	5.5%	
短期借入金	-	4,500	4,500	-	
転換社債	1,212	-	▲ 1,212	-	
固定負債	1,513	1,250	▲ 263	▲ 17.4%	
退職給付引当金	671	532	▲ 139	▲ 20.7%	
純資産	53,214	55,153	1,939	3.6%	
総資産	71,684	76,884	5,200	7.3%	

# キャッシュフロー分析

(単位:百万円)

	2006年9月期	2007年9月期	増減額	主な増減理由
営業キャッシュフロー	6,021	1,861	▲ 4,160	
税引前期末純利益	3,683	3,527	▲ 156	
減価償却費	2,373	2,611	238	
売上債権の増加額	▲ 2,090	▲ 1,502	588	
棚卸資産の増加額	▲ 172	▲ 1,161	▲ 989	
仕入債務の増加額	3,058	615	▲ 2,443	
投資キャッシュフロー	▲ 6,418	▲ 6,957	▲ 539	有形固定資産の取得
財務キャッシュフロー	▲ 857	3,572	4,429	短期借入金4,500百万円
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,253	▲ 1,524	▲ 271	
現金及び現金同等物の期末残高	2,760	1,237	▲ 1,523	

# 新中期経営計画の進捗状況

- 初年度で、売上高目標に到達する。
- 当初以上の設備投資により、目標数値を修正。。

(単位:億円)

	2005.9月	初年度	二年度	最終年度
		2006.9月	2007.9月	2008.9月
売上高	961	1,156	1,241	1,260 (1,100)
営業利益	30	34	33	39 (39)
経常利益	32	36	35	40 (42)
当期利益	18	20	19	22 (23)

※ 最終年度の( )内は当初の計画数値

- 収益力の強化を目指す。
- 減価償却費は、大幅に増加。

(単位: 百万円、%)

	2007年9月期		2008年9月期予想	
	金額	前期比 増減額(率)	金額	前期比 増減額(率)
売上高	124,084	8,470 (7.3%)	126,040	1,956 (1.6%)
営業利益	3,292	▲ 170 (▲4.9%)	3,865	573 (17.4%)
経常利益	3,545	▲ 94 (▲2.6%)	4,000	455 (12.8%)
当期利益	1,956	▲ 51 (▲2.6%)	2,180	224 (11.5%)
設備投資額	6,352	600 (10.4%)	5,154	▲ 1,198 (▲18.9%)
減価償却費	2,515	226 (9.9%)	3,031	516 (20.5%)

- 冷蔵倉庫事業 : 集荷力の向上と新增設冷蔵庫の軌道化を図る。
- 食品販売事業 : 利益率の改善を目指す。

(単位:百万円、%)

			冷蔵倉庫	食品販売	その他	合計
通 期	売上高	2007年9月期	17,635	106,413	36	124,084
		2008年9月期	19,000	107,000	40	126,040
		増減額	1,365	587	4	1,956
	売上総利益	2007年9月期	3,515	4,939	29	8,483
		2008年9月期	3,885	5,250	30	9,165
		増減額	370	311	1	682
上 期	売上高	2007年3月	8,901	54,256	18	63,175
		2008年3月	9,400	55,000	20	64,420
		増減額	499	744	2	1,245
	売上総利益	2007年3月	2,247	2,738	15	5,000
		2008年3月	2,145	2,800	15	4,960
		増減額	▲ 102	62	0	▲ 40

- 地域に密着し、ニーズにあったサービスの提供。
- 最適な保管環境とITシステムの提供。

## ○ 方針

- ☆ 主要拠点への展開を完了
- ☆ 新增設は一段落し、リニューアル投資を強化
- ☆ 「保管」と「物流」のバランス
- ☆ 料金体系の改善を目指す
- ☆ 環境問題対策

## ○ 見込み

- ☆ 新增設事業所の収益貢献
- ☆ 貨物状況は横ばい予想
- ☆ 畜産・農産品の需要増加

# 冷蔵倉庫事業の設備投資・売上高見込み



- 新規大規模設備投資は一段落の予定。
- 最適設備の提供により、集客力の向上を図る。

(単位:百万円)

		2006	2007	2008	合計
設 備 投 資 額	都城物流センター(2号)	1,397	313	0	1,710
	横浜物流センター	2,506	1,614	0	4,120
	加須第二物流センター	768	2,633	0	3,401
	鳥栖第二物流センター	36	609	2,308	2,953
	十勝第二物流センター	0	401	1,846	2,247
	リニューアル投資等	1,044	782	1,000	2,826
	年間計	5,751	6,352	5,154	17,257
売 上 高	既存設備	16,847	16,267	16,530	49,644
	新規設備	745	1,368	2,470	4,583
	冷蔵倉庫事業計	17,592	17,635	19,000	54,227
減価償却実施額		2,289	2,516	3,031	7,836

(新規設備: 伊勢原、都城1号・2号、横浜、加須第二、鳥栖第二、十勝第二)

- 鳥栖第二物流センターは2008.5月から稼働。
- 地域密着した農畜産物の集荷に努める。



- 敷地 約3,800坪
- 収容能力 約22,000トン
- 九州の中核ポイント
- 保管品 農産品、畜産品
- 移動式ラックで物流にも対応
- 設備投資額 29億円

- 十勝第二物流センターは2007.6月着工、2008.7月から稼働。
- 地域密着した農畜水産物の集荷に努める。



- 敷地 約3,250坪
- 収容能力 約20,000トン
- 北海道特産品の保管
- 保管品 農畜産品、水産品
- 豆類の保管に強みをもたせる
- 設備投資額 22億円

- 売上高を維持し、利益率の改善を重視。
- 在庫量を適正化し、効率化を図る。

## ○ 方針

- ☆ 売上高は現状維持
- ☆ 商品在庫を適正化する
- ☆ 新たな海外取引の開発
- ☆ 中長期的な人材育成



利益率の改善を主要目標とする

## ○ 見込み

- ☆ 豚肉の特需は一段落
- ☆ 農産物は増加見込み
- ☆ 利益率アップにより増益基調

## ● 1株当たり配当金

	(中間)	(期末)	(合計)
2005年9月期	8.0円	8.0円	16円
2006年9月期	8.5円	8.5円	17円
2007年9月期	9.0円	9.0円 (予定)	18円 (予定)
2008年9月期	9.0円 (予定)	9.0円 (予定)	18円 (予定)

# 主な経営指標の推移

- 着実な成長により、ROEを4%台に改善する。
- 安定した財務基盤を維持する。

		2005.9	2006.9	2007.9	2008.9{予想}
ROA	%	4.96	5.30	4.63	5.06
総資本回転率	回	1.47	1.61	1.67	1.60
EPS	円	38.90	40.62	38.29	42.04
BPS	円	1,048.88	1,065.10	1,063.56	1,082.85
株主資本比率	%	76.46	74.23	71.74	71.08
ROE	%	3.73	3.83	3.60	3.88
期末発行済み株式総数	千株	49,053	49,962	52,451	52,451

## 本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、  
将来の数値等に関する記載については、  
不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

お問い合わせ先

広報・IR室 室長

島居 寛

TEL :045-326-1010

E-mail :Yutaka.Shimazui@yokorei.co.jp

URL :<http://www.yokorei.co.jp/>